

第335号

2011年

12月6日

# どついたちニュース

全損保日勤外勤支部

東京都中央区銀座5-13-7

東銀座東京海上日動ビル1階

電話 03-3542-9857

FAX 03-3542-9858

教宣部 発行

## さらなる組織強化めざし 全員集会開催

## 瀧元全損保委員長 の講演を聞き

## 支部への団結 再認識

12月3日（土）・4日（日）の両日、組合は東京・小伝馬町のTKP小伝馬町ビジネスセンターで全員集会を開催しました。

初日は瀧徹次元全損保委員長の講演を聞きました。瀧さんは、まずご自身の経歴や経験



を語られるなかで、全損保という労働組合が何を大切にしてきた労働組合であり、どういう存在価値がある労働組合なのかを話されました。その後、私たちのたたかいや、和解成立後のいま私たちが置かれている状況や課題にも触れていただき、「団結こそが経営者と抗することができる労働者の唯一の武器であり、支部への団結を固めて道を拓いて行って欲しい。皆さんにはその力が充分ある」とエールを送

って下さいました。

2日目は分会ごとに分散会を開催し、瀧さんの講演を受けた感想を語り合いました。「瀧さんが経験したたたかいと私たちのたたかいを比較してもらい、あらためていま私たちが



置かれている立場や、やらなければならないことが見えてきた」「厳しかったたたかい

が終わりホッとしている感じがあったが、タガを緩めてはいけなと感じた」「スキをつくってはいけない。支部に団結することで和解条項を会社に守らせていこう」「闘争時の団



結力を思い出し、自分たちの労働条件を守るとともに全損保運動を先頭に立って牽引していく」など、「団結、の大切さを再認識する発言が数多く出され、さらなる組織強化をはかって運動をすすめていくことを全員で確認しました。

瀧さんは「全損保への恩返しのため今回の講演を引き受けた」と話しておられましたが、そのお話しの内容からこの日を迎えるにあたり、多大な時間やエネルギー、そして神経をつかっていただいたことがうかがえました。体を張って、最前線でたたかってきた瀧さんの深い言葉を胸にとめ、今後の運動をすすめていきます。（瀧さんの講演内容はDVDにし、必要に応じて分会に貸し出す予定です。）

## 交渉議題 今後のすすめ方を確認

全員集会ではいま交渉議題にのぼっている『異議申請交渉』『休日就業』『職場環境』について、現在までの経過を振り返り、到達点を確認し、今後のすすめ方を全員で確認しました。あわせて『業務改善要望』について、各職場の現状認識を行いました。また、秋のたたかいのメインに位置づけられている『一人一言運動』について、「全損保運動の先頭に立つ」意味からも、闘争を支援してくれた仲間や顧客などにも書いてもらい、支部として500部〔1人10枚以上〕を目標に、積極的に取りくむことを確認しました。（支部ホームページに「一人一言運動」用紙を掲載します。）



この他、初日には『JAL不当解雇撤回闘争』をたたかっている乗員組合の原さんから支援要請が行われ、署名活動・行動や集会への積極的な参加・物品購入のカンパなど、組織をあげて支援していくことも確認しました。

最後になりましたが、懇親会では12月22日付で退職を迎える佐藤修二前支部委員長へ各組合員から感謝の言葉が述べられ、佐藤前委員長の慰労を行いました。

以上